

地域で繋ぐ農業と伝統文化のふるさとづくり (平成22年度認定)



南風原町宮城集落は、町の北東部に位置し与那覇・宮平・大名と隣接する集落である。各種補助事業の導入により、さとうきびの生産量、町内1位を誇り、その他、ビニールハウスでの施設野菜作りも盛んになってきている。

そのため、農業と関わりのある行事や伝統文化が継承されており、300年続く大綱引き(アミシヌ御願)やウマチー御願、戦前から受け継がれている農業生産者の労をねぎらうクシユクイ(腰ゆくい)などの行事が毎年行われている。また、6月・12月に集落共同作業として、草花の植え付けや集落清掃を行っている。このような活動を通して世代間交流を行うなど、地域活動が活発で団結力の強い集落であり、【地域で繋ぐ農業と伝統文化のふるさとづくり】に取り組んでいる。



区民総出の美化活動



サーターづくり体験(宮城まつり)

